

# 入れ子雛

及川ふみ

圓形のお雛様はかつて誌上でお話いたしましたので今年は少し形をかへて、入れ子雛のつくり方を御参考に供しませう。

材料 一組 三〇人分 紙は全部伊豫紙

桃色 大判 六枚

水色 四枚

赤 六枚

黄色 六枚

緑 六枚

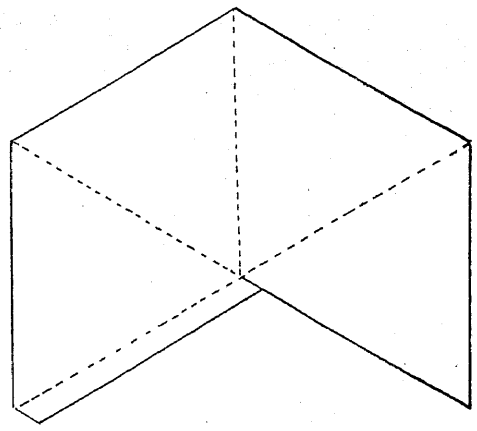
茶色 一枚

一枚四錢の伊豫紙が二九枚で合計壹圓拾六錢で三〇人分のおひな様が作られます。

製作の順序

親王様内裏様

水色ミ桃色の紙のうらに、半徑八センチの圓を畫きこれを半徑の大きさに切つて六角



ロをこつて残りの二つの三角形を切りおこします。

圖の如し。

圖の如く四つの角ミノリシロの外は餘りの部分であるから次の圓を畫くききには前の圓の上にある部分重ねて出来るだけ紙を經濟的に使用するき一枚の大判の伊豫楮で九つの親王様が出来るのであります。

顔は圖の如くに左右の線が三角形内におさまる様に適

形をつくり、此六角形の角頂ミ

圓心ミを結

びつけて正

三角形を六

つつくる。

そのうちの

四つの三角

ミ半センチ

位のノリシ

常の大きさに白の畫用紙に畫きて切りこつてはる。

顔の大きさが大に過ぎるききは形が可愛らしくない様であります。

**冠**

親王様は黒の伊豫楮か又は畫用紙を黒くぬりたるものを上の形に切りこの中央はごくニセンチ位の長さにして下の部分だけに糊をつけて頭の上にはります。

内裏様の冠は黄色の伊豫楮を山字形にきつて頭の上にはりつける。

笏ミ扇は黄色の紙で適當の大きさにしてつくる。

親王様、内裏様の下の部に綠白桃色の色紙を半センチ位の幅に切りて周圍にはりつける。

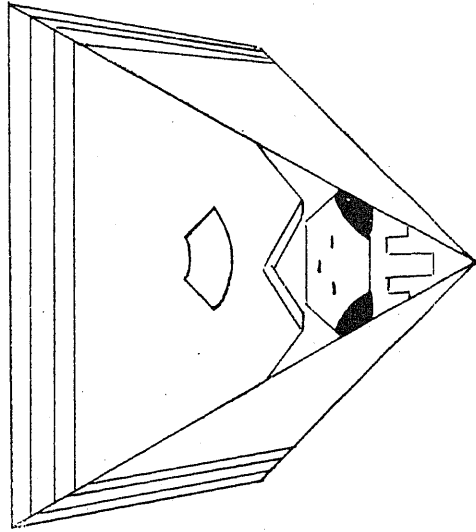
**三官女**

赤の伊豫楮の裏に半徑六センチ半の圓を畫き三角形の四つミノリシロをつけておく事内裏様のききと同様でこれは一枚の紙で十六個作る事が出来ます。

**顔**

内裏様と同様に畫用紙で作ります。

内裏様



上着

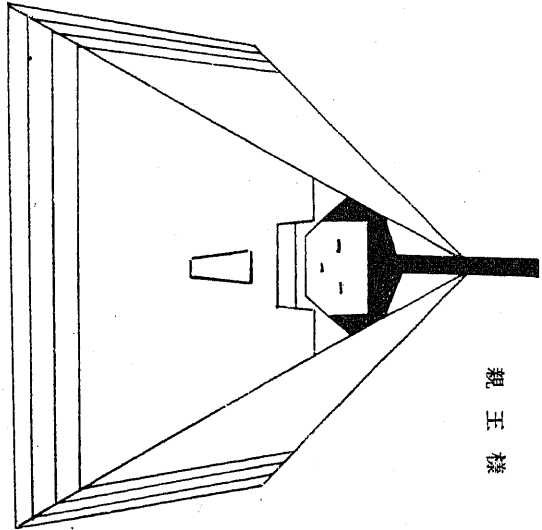
黄色の伊豫杖にて胴の部分の三角形の左右の線に合せ  
て切りぬきてはる。

五人囃

緑の紙を半径六センチの圓にして内裏様と同様に作る

これも一枚の紙で十六個作る事が出来ます。

親玉様

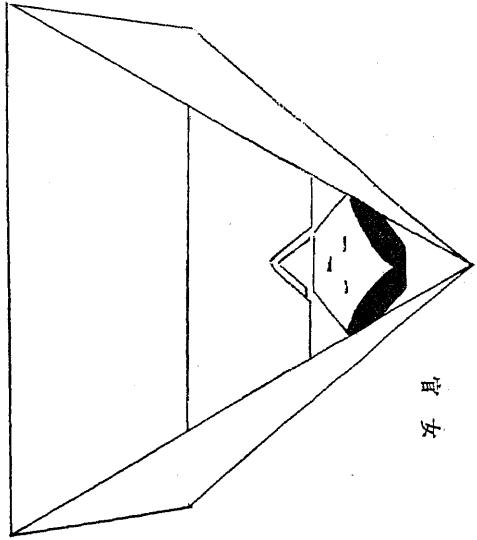


緑の五人囃を二個ミ橘の分ミを合せて緑色では幼児一  
人に三個づつくり黄色の五人囃は三個つくる。つまり五  
人囃は黄色で三個、緑色で二個とする。

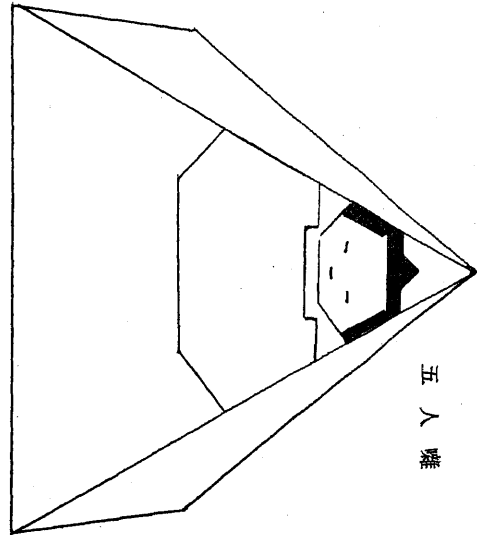
黄色の五人囃には緑の上着をつくり、緑色の五人囃には  
黄色の上着をつくる。

櫻橘

官女



五人囃



櫻は桃色の紙で五人囃と同じ大きさのものを作り、橘はさきで作つてあるのを用ひる。

柵ミ木の幹ミは茶色の紙を三ミリ位の幅にきりたるをはる。これは顔ミちがひ四つの面に全部にはる。

櫻の花は赤の切りくづを半センチ四方位にして隅をおとし一面に六つ位づゝはる。

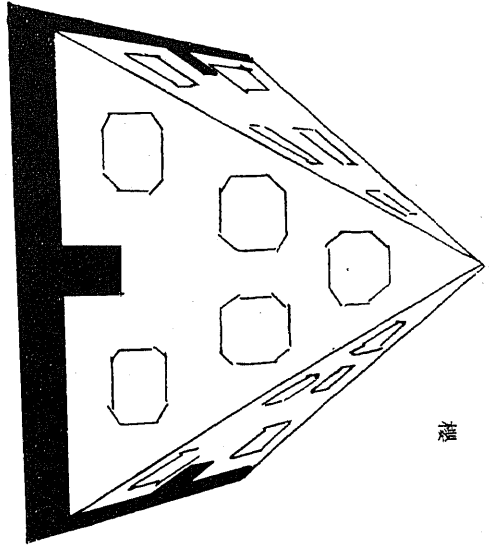
橘は黄色の切りくづを櫻ミ同様利用してきつてはる。

製作させるについての注意

これは内裏、親王、三人官女、五人囃、櫻橘等全部で一人の幼児についての十二個も必要であるが謄寫版を用ひず一つ一つ鉛筆で形をきつてする方が精確に出来る。

尙一人前分の材料をミのへてこれを大きな封筒様のものに入れて用意しておく。

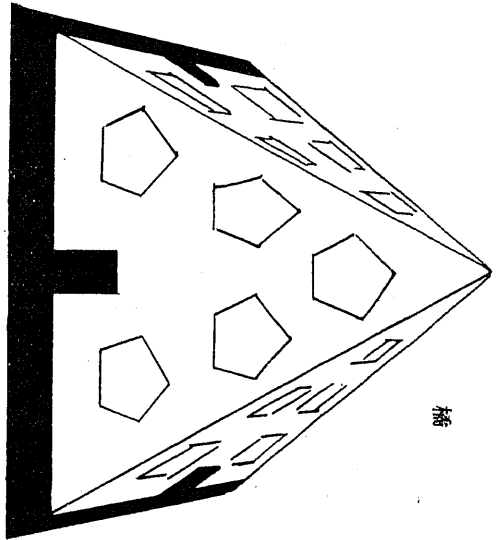
その袋の中からあるときは内裏様だけミがあるときは



産

三官女だけミカをきり出して鉛筆の線をたぎりて丁寧  
 切らせる。この切る分量が多いときや同時にさせる幼児の  
 数の多いときにはミカが乱雑に切りがちなものであるか  
 ら一人の幼児に一時にさせる分量はなるべく少くし又な  
 るべく少人数の幼児でさせる様にしたいものであります。  
 正確に線をたぎつて切つておかないミ出来上つた形が  
 奇麗にならないのであります。

序ながらに申しておきたい事はこんな特種な材料であ



産

つてなるべく一人一人の幼児がつくるものについて保姆  
 がよく丁寧に指導してさせるものについてはごく少人  
 数の幼児だけにこの材料を與へて特にこの小さいグル  
 プを作つて保姆はその製作に注意して他の幼児には比較  
 的手をはなしてさせられる様にして自由畫や粘土製作な  
 るをさせて次々ミ幼児をきりかへてさせなければなら  
 ないのであります。